第 1 講　原始の日本列島

PART 3 弥生文化（金石併用時代）

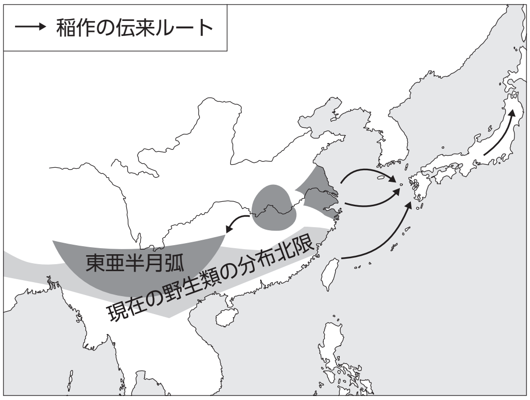
Chapter 1　弥生文化

目標
弥生文化の特徴について知ろう。
沖縄と北海道に弥生文化がなかったのはなぜだろう？

1　弥生文化の成立（紀元前５世紀？～３世紀半ば）

中国大陸では，紀元前 6500～前 5500 年頃，
黄河や長江〔揚子江〕など大河の流域で農耕社会が成立した（＝中国文明）。
農耕文化の発達は周辺地域に強い影響を与え，のち朝鮮半島を経て日本へも
渡来人（＝新モンゴロイド）から稲作や金属器が伝わり〔1　　　　〕**文化**となった。
※中国では，紀元前８世紀に始まる春秋・戦国時代を経て，
　紀元前３世紀には統一国家である〔2　　　　〕や**前漢**が成立した。

①**水稲耕作**〔水稲農業〕の開始→〔3　　　　〕**経済段階**へ
　農耕やイノシシ・ブタの飼育と，狩猟・漁労・採集が併存。
　A　**湿田**から**乾田**へ→直播から田植えへ
　　収穫物は貯蔵穴や〔4　　　　　　　〕に収められた。
　B　磨製石器や木製農具・鉄製刃先農具の使用
　　農具の製作は，磨製石斧などの磨製石器から鉄製工具へ変化。
　　あ　〔5　　　　　　〕
　　　→稲の穂首刈りに使用
　　い　鉄鎌→稲の根刈りに使用
　　う　木製の鍬・鋤
　　え　〔6　　　　　　〕・大足・田舟
　　お　脱穀用の木臼・竪杵



稲作の伝来ルート

②**金属器**の使用→弥生時代は金石併用時代

A 〔7 〕

祭器・宝器などの祭祀用。

B 〔8 〕

武具・工具・農具などの実用。

③〔9 〕**土器**の使用

→薄手でやや硬く赤褐色

紀元前８世紀頃から，

早期･前期･中期･後期の４期に区分される。

用途に応じて甕（煮炊き）・壺（貯蔵）・

鉢や高杯（盛り付け）・

甑（蒸し）などに多様化。

④機織り技術の伝来

A 糸を紡ぐ紡錘車や簡単な機織具を使用

B 袈裟衣や貫頭衣を着用

石包丁と穂首刈り

各種の弥生土器（甕･壺･高杯）など

2 弥生文化の分布

南西諸島・北海道には稲作は広がらず，**採集〔獲得〕経済段階にとどまった**。

この２地域は，縄文人の特質を濃く残しているといわれる（＝古モンゴロイド）

①〔10 〕**文化**〔南島文化〕（**沖縄県**および鹿児島県の薩南諸島）

弥生時代～平安時代前期の 10 世紀頃まで。

８世紀頃に稲作などの農耕が始まるが中心的ではなかった。

②〔11 〕**文化（北海道）**→続縄文土器を使用

弥生時代～飛鳥時代の７世紀頃まで。鉄器を使用した狩猟・漁労・採集が中心。

※のち擦文土器を使用する**擦文文化**や，

オホーツク式土器を使用するオホーツク文化が展開された。

まとめ

弥生文化は，水稲耕作と金属器の伝来を伴う生産経済段階の文化。
沖縄と北海道には稲作が広がらず採集〔獲得〕経済段階にとどまったため，
弥生文化ではなく貝塚文化と続縄文文化が展開した。

Chapter２　弥生時代の生活と習俗

目標
旧石器・縄文文化と弥生文化の大きな違いについて知ろう。
墓制の移り変わりについて知ろう。

１　弥生時代の暮らし

①生活の変化

Ａ　**定住生活**

水田近くの低地に**竪穴住居**や平地住居，**高床倉庫**や貯蔵穴群からなる集落を形成。

Ｂ　**銅鏡**などの青銅製祭器を用いた農耕祭祀→西日本における３つの文化圏

あ　**銅矛・銅戈**→九州北部中心

い　平形**銅剣**→瀬戸内中心

う　〔1　　　　　〕→近畿中心

高床倉庫

Ｃ　墓制の変化→もとは土抗墓

屈葬や**伸展葬**。地域により違いが著しい。

あ　木棺墓・箱式石棺墓

い　**甕棺墓**→九州北部を中心に大型の土器に死者を納める

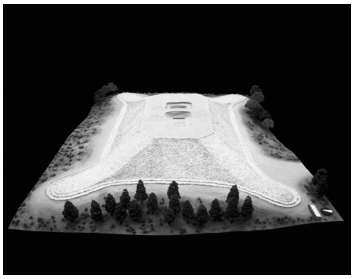
う　〔2　　　　　〕→九州北部で**朝鮮半島南部の影響**を受けて地上に大石を置く

え　再葬墓→東日本で死者の骨を壺形土器に納める

お　〔3　　　　　〕→方形に溝を掘り墓域を作る

か　**墳丘墓**→大量の副葬品を伴う個人の墓

※山陰地方・北陸地方の**四隅突出型墳丘墓**など。


四隅突出型墳丘墓

②社会の変化

Ａ　**ムラ〔集落〕**の発展

稲作の開始による共同作業・余剰生産物の発生などから

貧富差・身分差が明確になり，**階級社会**へと変化した。

※**ムラオサ**が首長として支配。

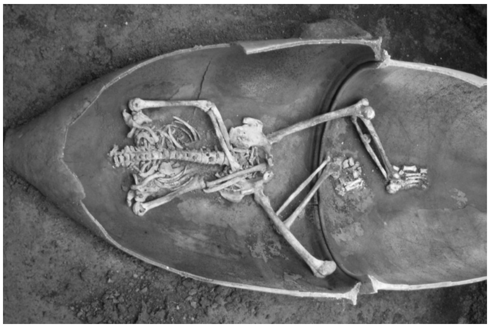
B　**クニ〔小国〕**の成立

用水・耕地・余剰生産物・金属器などをめぐるムラどうしの対立が激化。

〔4　　　　　〕**集落・高地性集落**の登場に見られるように「**戦い**」が繰り返され，各地にムラを統合したクニが成立した。

※クニの首長は〔5　　　〕と呼ばれ，古墳時代の豪族へと発展していく。

2　弥生文化の遺跡



首のない甕棺墓

①水稲耕作跡

A　砂沢（青森県）

B　垂柳（青森県）

C　〔6　　　　　〕**（静岡県）**

D　**板付（福岡県）**→環濠集落でもある

E　**菜畑（佐賀県）**

②環濠集落

A　**大塚（神奈川県）**

B　朝日（愛知県）

C　**唐古・鍵（奈良県）**

D　**池上曽根（大阪府）**

E　〔7　　　　　　　　　〕**（佐賀県）**

F　原の辻（長崎県・壱岐）

③その他

A　弥生町〔向ヶ岡貝塚〕（東京都）

B　〔8　　　　　〕**（岡山県）→墳丘墓**

C　〔9　　　　　　　〕**（島根県）**→ 358 本の銅剣・16 本の銅矛・６個の銅鐸

D　**加茂岩倉（島根県）**→ 39 個の銅鐸

E　紫雲出山（香川県）→高地性集落

まとめ　弥生文化では生産経済段階に突入し，貧富差・身分差が明確な階級社会になった。弥生時代には，共同墓地から副葬品を伴う個人墓へと変化していく。

第1講 PART3 確認問題

1 紀元前3世紀に中国で成立した統一国家はどれか。

① 晋　② 殷
③ 秦　④ 周

2 弥生時代の中・後期に開発された田はどれか。

① 名田　② 乾田
③ 口分田　④ 湿田

3 稲の穂首刈りに使用された農具はどれか。

① 鉄鎌　② 石包丁
③ 竪杵　④ 鍬

4 北海道で弥生時代から飛鳥時代の7世紀頃まで展開された文化はどれか。

① 擦文文化　② 貝塚文化
③ オホーツク文化　④ 続縄文文化

5 青銅器とその主な分布地域の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 銅鐸ー瀬戸内　② 銅戈ー九州北部
③ 銅矛ー瀬戸内　④ 平形銅剣ー近畿

6 大型の土器に死者を納める墓はどれか。

① 甕棺墓　② 木棺墓
③ 墳丘墓　④ 支石墓

7 水稲耕作跡はどれか。

① 菜畑遺跡　② 池上曽根遺跡
③ 大湯遺跡　④ 大塚遺跡

8 環濠集落にあてはまるものはどれか。

① 加茂岩倉遺跡　② 紫雲出山遺跡
③ 楯築遺跡　④ 唐古・鍵遺跡

第 1 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：③　①の晋は 3 世紀，②の殷は紀元前 16 世紀頃，④の周は紀元前 11 世紀に成立した。

2 解答：②　④の湿田は弥生時代前期に開発が進められた。

3 解答：②　①の鉄鎌は稲の根刈り，③の竪杵は脱穀用に使用し，④の鍬は田を耕すための農具。

4 解答：④　①の**擦文文化**は北海道で 7 ～ 13 世紀頃に展開された文化，②の**貝塚文化**は沖縄を含む南島で弥生時代から平安時代前期の 10 世紀頃まで展開された文化，③の**オホーツク文化**はオホーツク海沿岸一帯で 7 ～ 13 世紀頃に展開された文化。

5 解答：②　①の銅鐸は近畿中心，③の銅矛は銅戈とともに九州北部中心，④の平形銅剣は瀬戸内中心。

6 解答：①　②の木棺墓は地中に掘った墓穴の中に木棺を置いた墓，③の墳丘墓は大量の副葬品を伴う個人の墓，④の支石墓は地上に大石を置いた墓。

7 解答：①　②の池上曽根遺跡と④の大塚遺跡は環濠集落が見られる遺跡，③の大湯遺跡は縄文時代の遺跡。

8 解答：④　①の加茂岩倉遺跡は 39 個の銅鐸が発見された遺跡，②紫雲出山遺跡は高地性集落が見られる遺跡，③楯築遺跡は墳丘墓の遺跡。